

# ガーナ国輸血感染対策普及促進事業

## テルモ株式会社



病原体低減化装置

### 「ミラソル」

UV光とリポフラビン(Vitamin B2) によって、病原体を低減化し、感染症や輸血副作用のリスクを軽減します。

### 背景

- サブサハラ地域は、マラリアの輸血感染率が非常に高く、ガーナにおける血液提供者のマラリア罹患率は55%ともいわれ、安全な輸血用血液の安定確保が困難。
- 安全な輸血用血液の安定確保なくして、発展途上国への高度医療技術の導入は困難。

### 概要

- ガーナの主要2都市(アクラ、クマシ)の国立血液サービス、教育病院を対象にて実施。
- 全血製剤用ミラソルの導入、輸血監視体制(ヘモビジランス)の構築・標準化に向け、啓発及び研修を実施。
- 本邦受入活動では、日本赤十字社の協力を得て、ヘモビジランス講習、検査・製剤に係る施設及び病院の視察、関係者との意見交換を通じ、ガーナでの安全な輸血用血液の安定確保に対する課題を明確化する。

### 輸血安全性を高める施策の導入研修と実証



### 推進、普及;

- ✓ 患者への安全性の改善
- ✓ 全体の医療コストの削減
- ✓ 血液サービスと教育病院との連携

- ガーナにおいて、全血製剤用「ミラソル」の常用体制を確立するとともに、安全な血液供給の基本的な考え方を根付かせる。
- **安全かつ安定的な血液供給**を実現、推進するために、ミラソルの導入だけではなく、輸血監視体制(ヘモビジランス)構築による啓発をおこない、輸血医療インフラの整備を行う。これにより**持続的な血液供給モデル**を確立する。

### 今後の展開

- 中期的には、ガーナが西アフリカ諸国、サブサハラにおける輸血分野の中心的なオピニオンリーダーとなり、同じ課題をもつ周辺途上国へ安全かつ持続的な血液供給モデルを横展開する。
- 長期的には、さらに他のテルモ製品(採血用・治療用アフェレシス、外科用デバイス等)の導入、拡大を図る。また、機器・システムの改良・コストダウンも進める。